



埼玉県内中小企業における
I T / I o T 活用状況調査
(最終報告)

2016年10月26日

(公財) 埼玉県産業振興公社

1. 調査実施内容

1.1 調査目的

IoT活用推進支援事業を推進するに当たり、県内中小企業のIT化/IoT活用状況の現状、並びに今後のIT化/IoT活用の方向性、埼玉県、SAITEC、埼玉県産業振興公社に対する要望・期待等を把握することが目的である。

1.2 調査実施期間

平成28年9月1日～9月26日

1.3 調査対象

1, 072企業

当公社会員 7月31日現在 1367社より、下記の会員を対象外とした。

(対象外会員) ① 商工団体・金融機関 85社

② その他 210社

(内訳) ・大企業、県外企業(メイン事業所が県内にある企業を除く)、組合

1.4 調査方法

アンケート方式による郵送回収方式

1.5 回収状況

回答数 294件 (回収率27.4%)

1.6 調査内容

別添アンケート調査票のとおり

2. 回答企業プロフィール

ご回答頂いた企業は、小規模企業から中堅企業まで幅広くご協力いただきました。

業種別の構成は、80%強が製造業で約15%が製造業以外からの回答だった。製造業のうち、機械器具製造業が38%、金属材料系が19%を占めている。(図1)

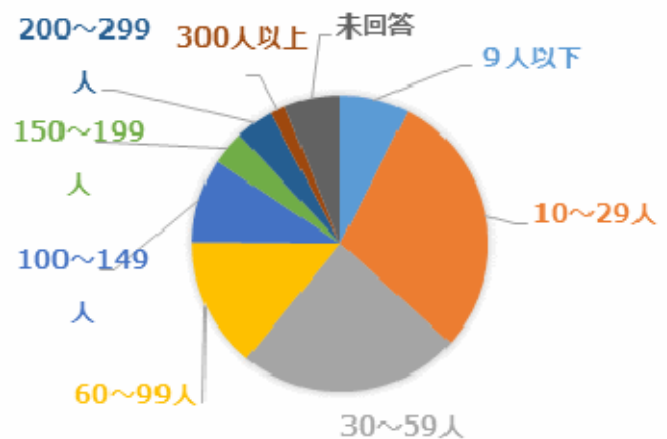
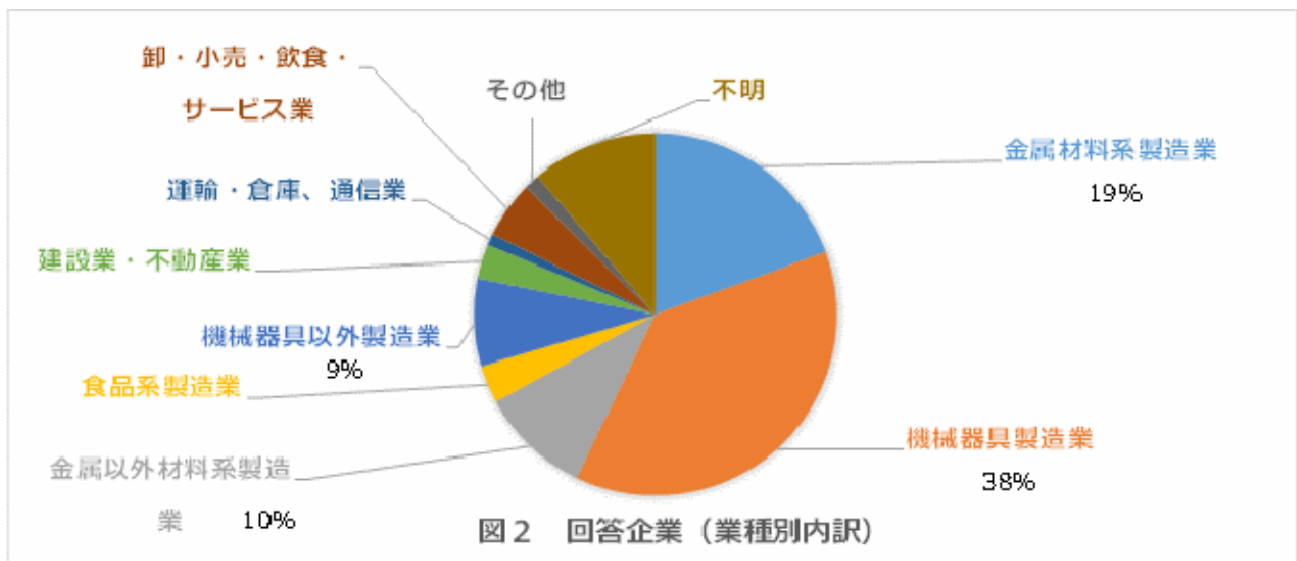


図1 回答企業(従業員別)

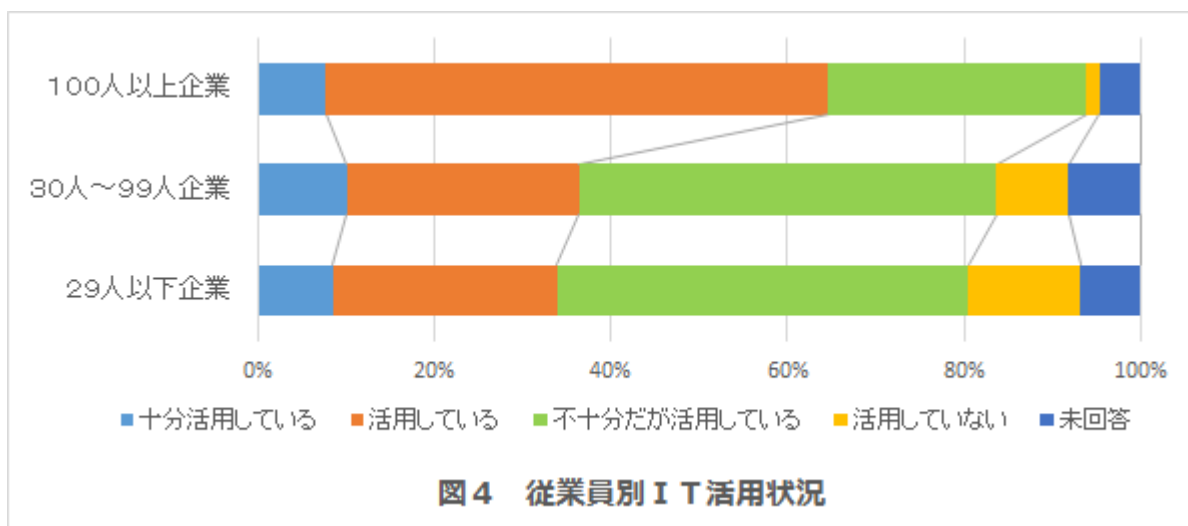
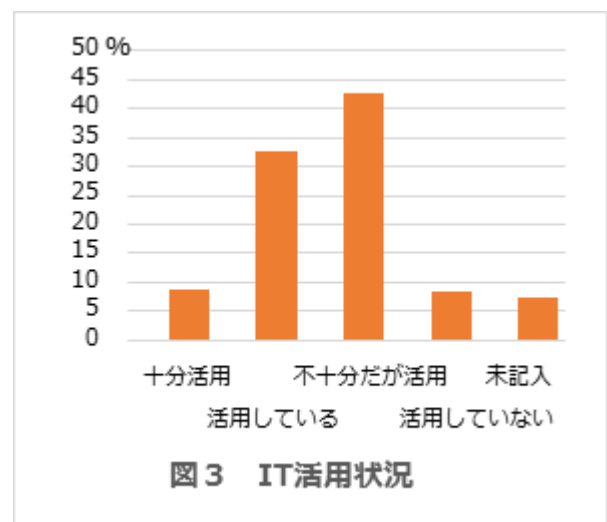


3. 調査結果概要

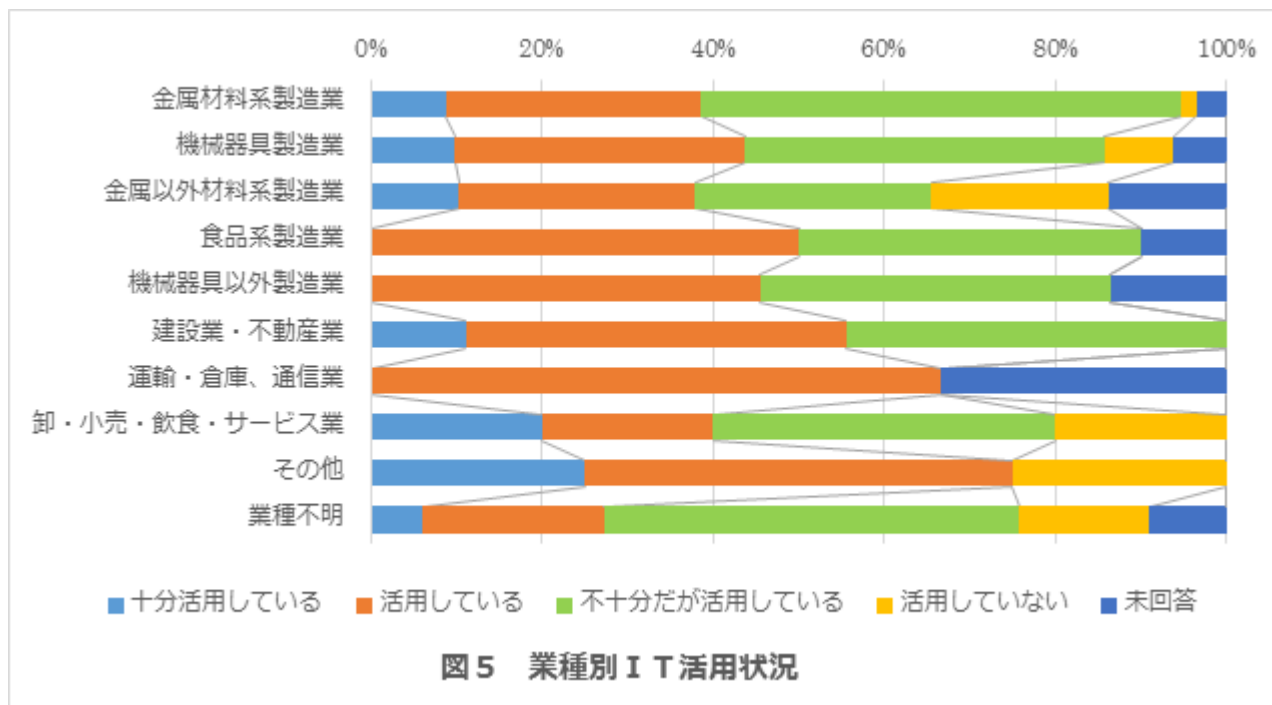
3.1 IT活用状況

県内企業の90%以上でITを活用しておりIT活用率は高い。ただし「十分活用している」「活用している」と回答した企業は50%未満で、活用はまだ不十分な企業が多い。(図3)

従業員数別では、従業員が100人以上の企業ではIT活用の割合が高く、99人以下の比較的規模の小さい企業のIT活用割合が低い。(図4)



業種別でみると、製造業と非製造業との比較では、製造業は、非製造業に比べて「十分活用している」「活用している」と回答した企業数が少なく、製造業でも「材料系」企業の IT 活用割合が低い傾向がある。非製造業では、「卸・小売・飲食・サービス業」の IT 活用割合が低い。(図5)



3.2 主要業務導入状況

調査企業全体で見ると、IT を導入している主要業務は、「人事給与」「財務会計」などの事務処理系の導入率は比較的高いが、IoT 活用として効果的と思われる「生産管理」「在庫出荷管理」などは 50%強で、まだまだ導入率は低い。

製造業のみを対象にすると、「生産管理」「購買管理」「原価管理」「在庫出荷管理」の IT 導入割合は 70%前後であった。経営改善の重要な指標である「原価管理」に関しては、製造業を対象としても 60%程度の導入率であった。(図6)

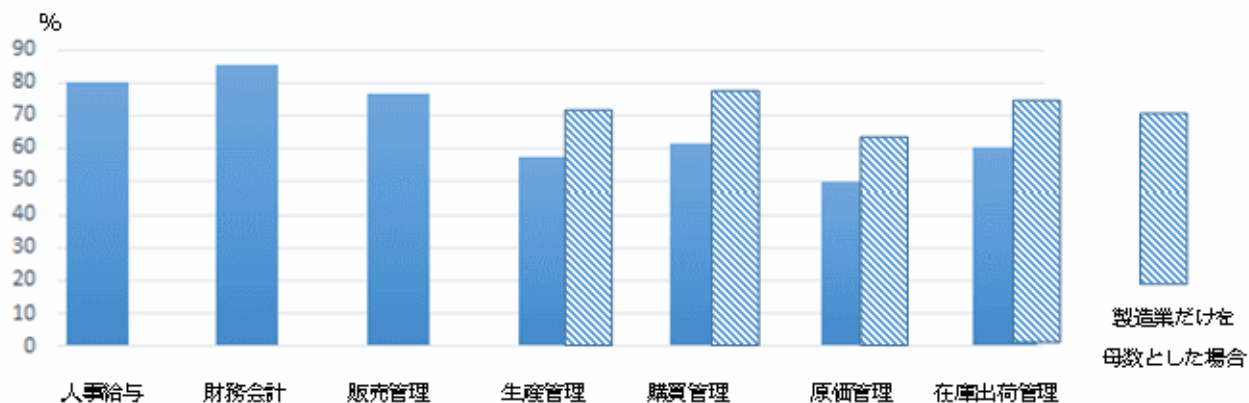
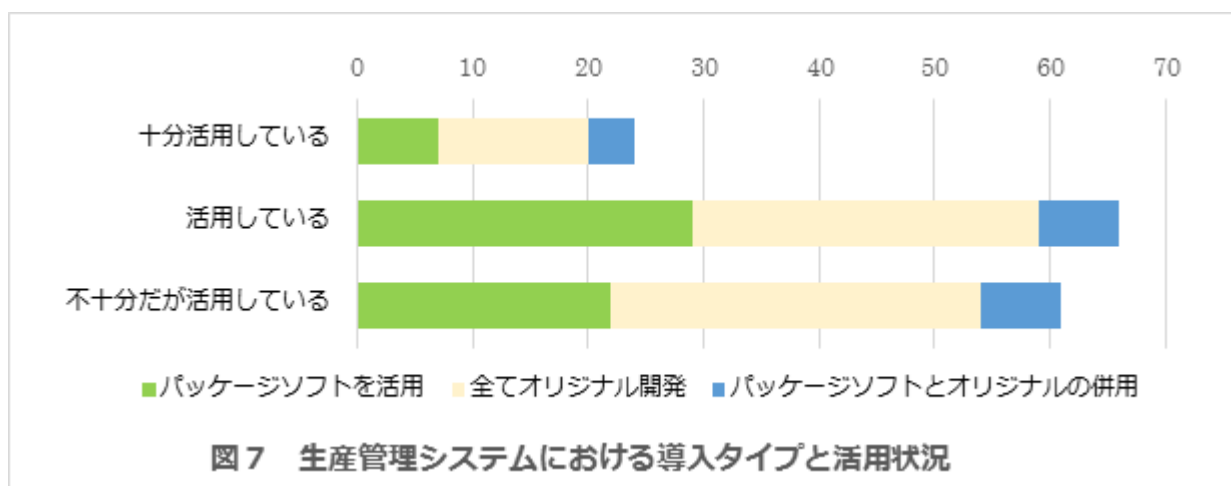


図6 主要業務導入状況 (導入率)

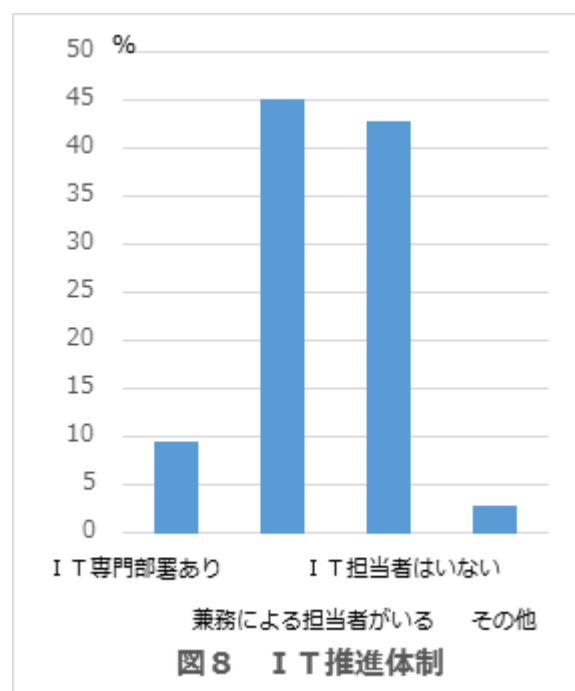
生産管理システムの導入タイプに注目した場合、IT の活用状況の如何にかかわらず、約 50% の企業で、全てオリジナル開発のシステムを活用している。また、パッケージソフトウェア(表計算ソフトなどを含む)を活用している企業は、十分活用している企業では 30%程度で、全体でも 40%程度であった。(図7)

具体的な導入システムとして、CAD/CAM やグループウェアなどを導入していると回答している企業も見られた



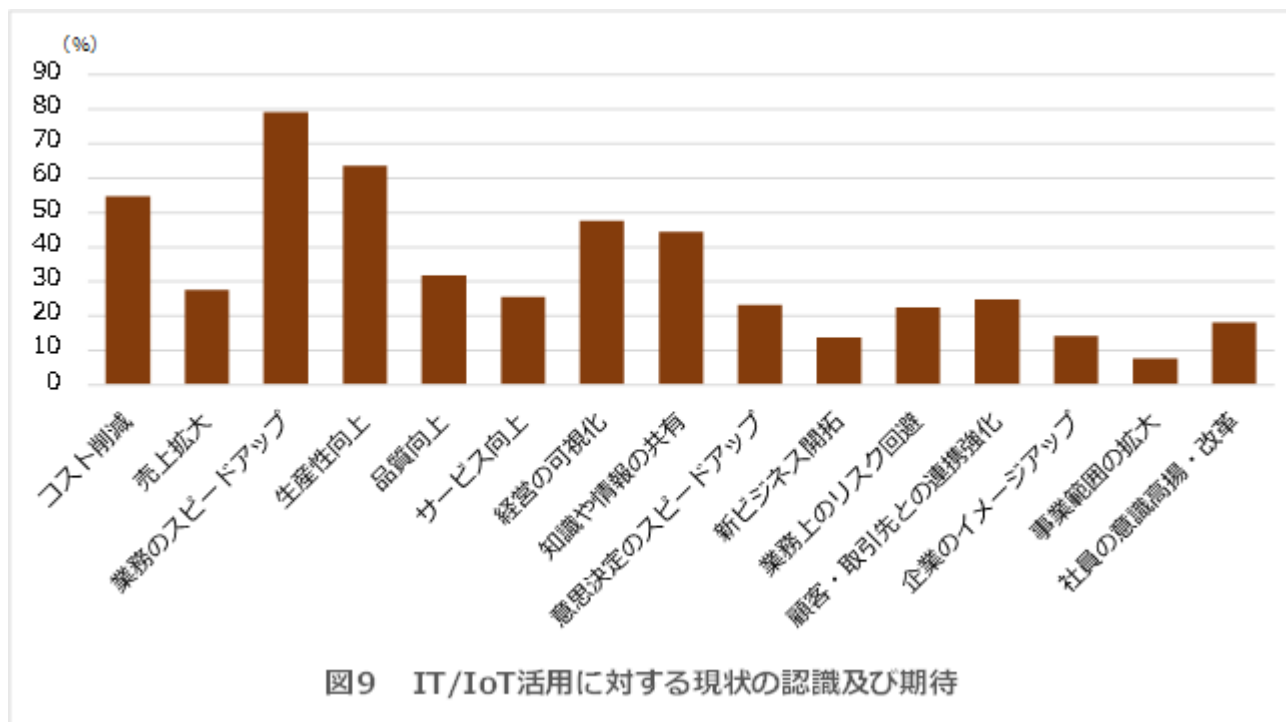
3.3 IT推進体制

IT 化を担当している専門組織がある企業は 10%程度と少なく、IT 担当が兼務している企業が約 45%と最も多い。一方で、IT 担当者が不在企業も 40%以上もあり、現状での IT/IoT 活用への推進体制はまだ遅れている状況と思われる。(図8)



3.4 IT/IoT活用に対する現状の認識及び期待

IT/IoT 活用に対する現状の認識および期待は、様々な回答であった。「業務のスピードアップ」「生産性向上」についての認識や期待度は高く、「コスト削減」「経営の可視化」「知識や情報の共有」がそれに続いて高い。業務改善やコストダウンなど現状の事業改善への認識や期待が高い一方で、「新ビジネス開拓」「事業範囲の拡大」は低く、IoT 活用が有効と思われる将来の事業革新や事業成長への認識や期待は低かった。(図9)

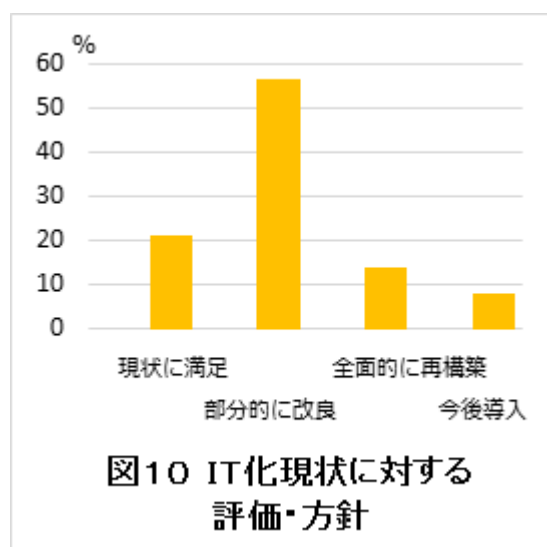


3.5 IT化の現状(ITシステム)に対する評価と今後の方針

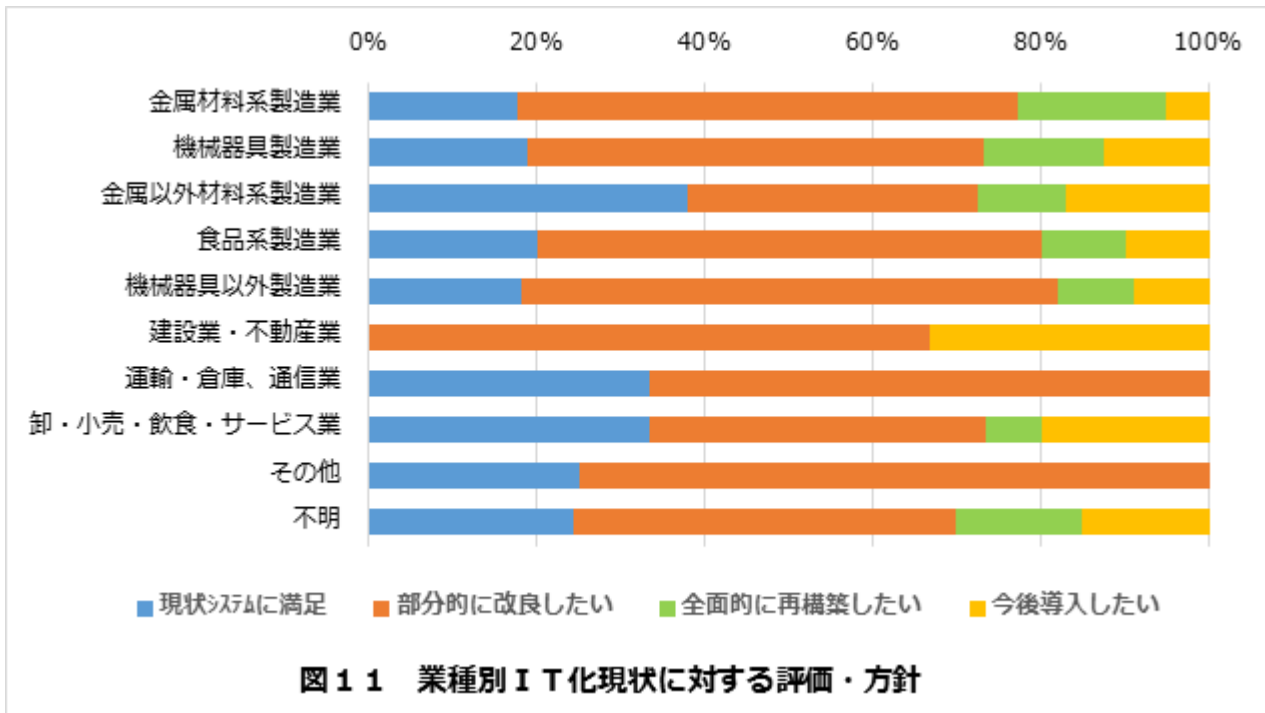
多くの企業が、現状のITシステムに対して「部分的に改良」を望んでおり、「全面的に再構築」「今後導入」を望む企業もある。「現状に満足」している企業は、20%程度あった。(図10)

具体的な改良や再構築については、以下のような回答が目立った。

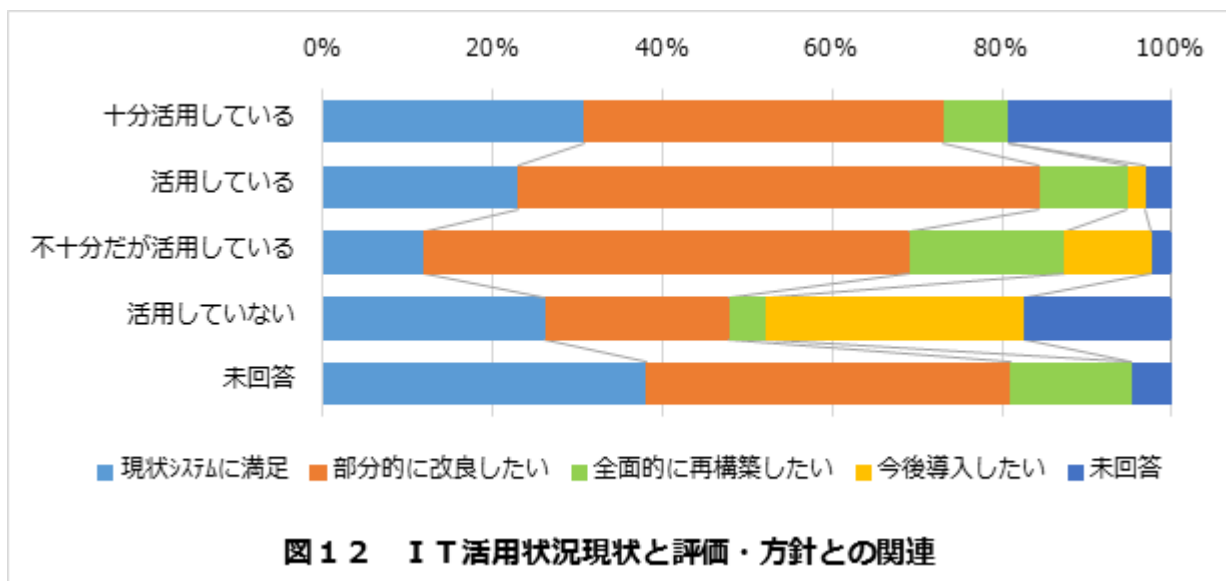
- (1) 環境変化への対応、使い易さの改良
- (2) サブシステム間の連携、データの見える化
- (3) 生産工程の見える化、現場作業の軽減
- (4) 見積もり／受発注活動などの営業業務の改善
- (5) 原価管理／在庫管理の導入、強化
- (6) 自社工場および協力工場との連携



業種別の集計では、ほとんどの業種で「部分的に改良」「全面的に再構築」を望んでいる企業が多かった。一方で「金属以外の材料系製造業」「運輸・倉庫、通信業」「卸・小売・飲食・サービス業」の業種では、「現状システムに満足」と回答する企業が30%を超えていた。(図11)

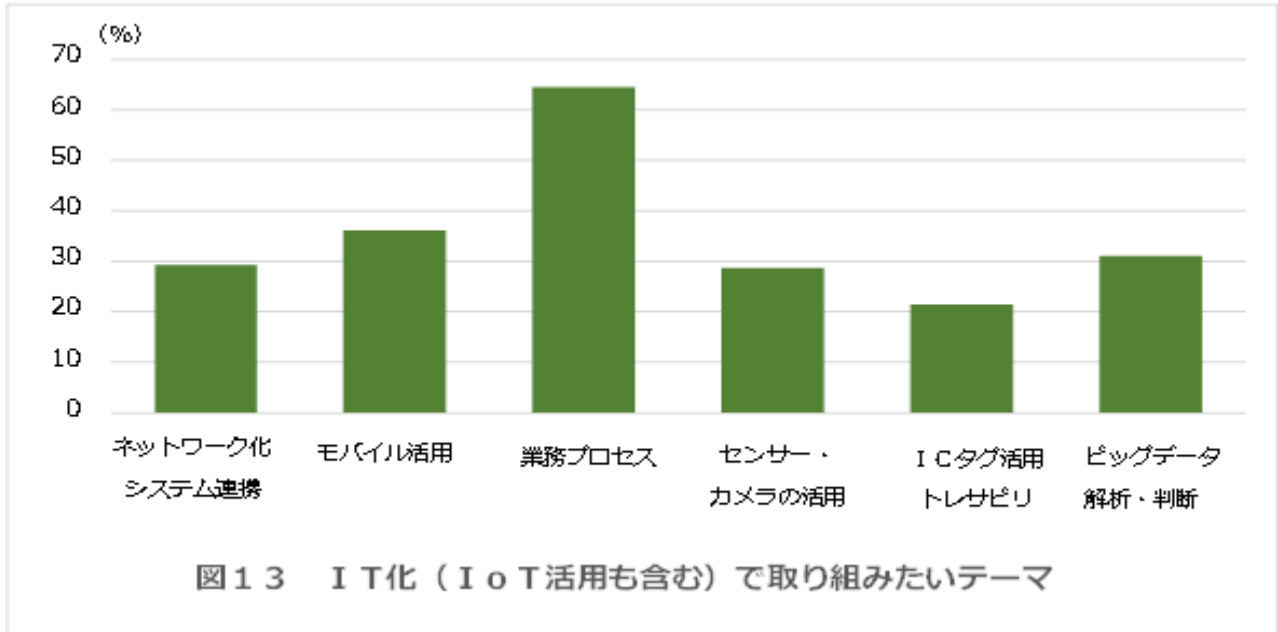


現状 IT システムの活用状況と IT システムへの評価・方針の関係では、十分活用している企業ほど「現状システムに満足」の割合が大きい傾向がある。「不十分だが活用している」企業では、「部分的に改良」「全面的に再構築」を望んでいる企業が約 70%あった。(図12)



3.6 IT化(IoT活用も含む)で取り組みたいテーマ

約 60%の企業が、「業務プロセスや生産性向上」など、現状の業務改善に取り組みたいと回答しており、上記問の「IT/IoT 活用に対する現状の認識および期待」の回答と同様な傾向である。一方、約 30%の企業で、「モバイル機器の活用」「センサーやカメラの活用」「ビッグデータの収集分析」などの IoT の要素技術を組み込んだテーマへ取り組みたいと回答し、積極的な IoT 活用への意欲も感じられた。(図13)



3.7 IT化/IoT活用推進上の課題

「人材不足」「知識不足」と回答する企業が多く、次に「資金不足」と回答する企業が続いている。上記設問の「IT 推進体制」の回答結果にもあるように、推進役となる人員の確保や体制づくりが重要な課題である。(図14)

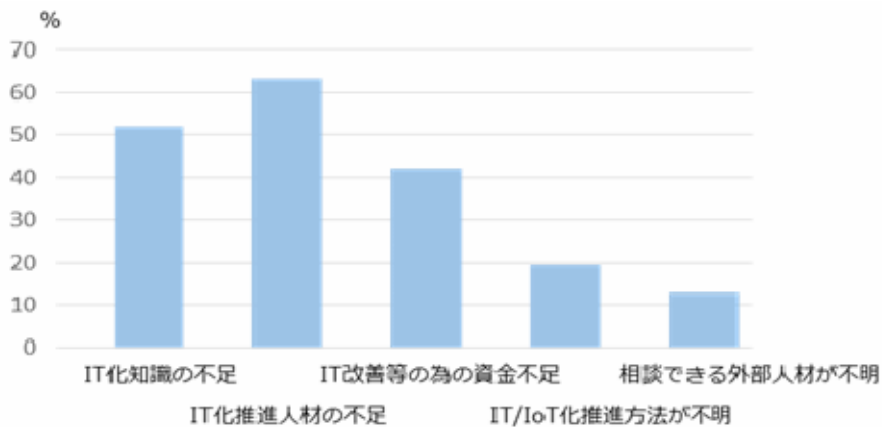


図14 IT化/IoT活用推進上の課題

3.8 県や埼玉県産業技術総合センター・公社への期待

「補助制度の創設」と回答する企業が最も多く、次に「セミナー・研究会の開催」「相談体制の充実」「人材育成」と回答する企業が続き、上記設問の「IT化推進の課題」の解決に、資金面の支援や人材育成、情報提供、相談体制整備などへの期待が大きいことが分かった。一方、「新ビジネス創出や専門家派遣」など、IoT活用や導入、新ビジネス発掘など、戦略的な事業支援への期待はあまり高くない結果であった。(図15)

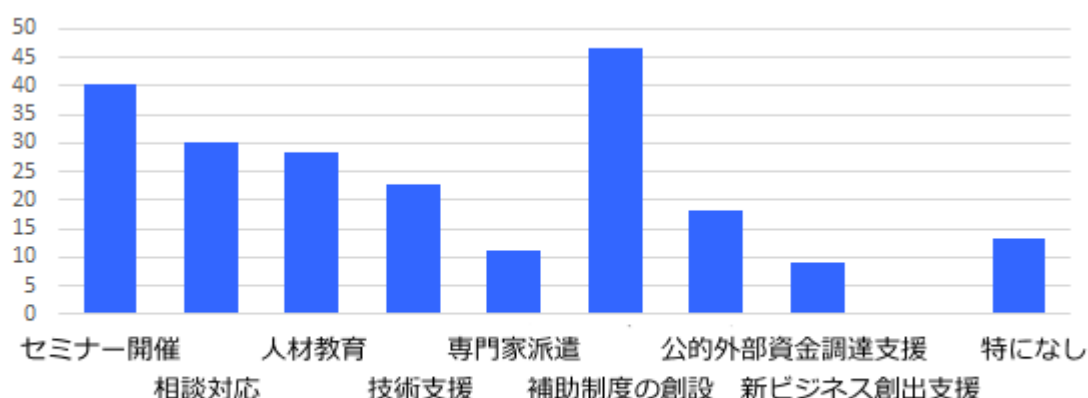


図15 県や埼玉県産業技術総合センター・公社への期待

その他、具体的に県や公社等への期待としては、「知識や技術の個別指導」「企業規模に合ったIoT指導」「セキュリティーやコンプライアンスの知識」「最新事例や動向の定期的な調査報告」などの要望があった。

3.9 会社の今年度の活動について

- (1) セミナーの開催 : 9/30(終了)、12/9(第二回)、1/26(第三回)、3/?(第四回)
- (2) 相談業務の実施 : 電話・メールでのご相談のほか、県内企業を訪問し、IoT活用に関する相談や、基盤となるIT(システム)の導入、改善に対する相談・支援を実施。
- (3) 研究会の実施 : 「次世代自動車支援センター」による企業体質強化支援事業で実施している、IT活用のものづくりの現場力強化をテーマとした研究会と連携して実施。

【問い合わせ先】

新産業振興部(次世代自動車支援 G) IoT活用支援担当
048-621-7051 (jidosha@saitama-j.or.jp)

-以上-